

第8回 観音寺市新道の駅市民検討委員会 議事要旨

開催日時 令和6年11月1日(金) 19時00分～20時40分
開催場所 観音寺市役所本庁舎2階 201・202会議室
出席者 委員13名、オブザーバー4名、事務局5名

【会議資料】

議題1 資料

- ・事業手法及び契約形態
- ・導入可能性調査結果概要

議題2 資料

- ・新「道の駅」かんおんじ（仮称）基本計画項目案
- ・新「道の駅」かんおんじ（仮称）基本計画（原案）

議題3 資料

- ・新「道の駅」かんおんじ（仮称）をイメージする言葉について
- ・新「道の駅」かんおんじ（仮称）基本計画サブタイトル提案書

【次 第】

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 議題

- (1) 新「道の駅」かんおんじ（仮称）に係る導入可能性調査結果について

事務局： 「議題1資料」を用いて説明。

委員長： 説明いただいた内容で、ご質問、ご意見ありますか。（質問、意見等無し）

委員長： 今回の説明を噛み砕くと、指定管理方式というのは、比較的公共施設での導入事例が多い方式であり、建物ができてから運営事業者を募集し、その後運営してもらうスタイルですが、その方式だと行政が設計や建物の建設をするため、運営事業者が入ってからだと使いにくいというデメリットがあります。また、DO方式やDBO方式、あるいは資金自体を民間事業者が出してもらうPFI方式では、あらかじめ運営事業者と建設などをする事業者が協力しながら設計などを行いますが、ある程度の規模の企業が企業グループを結んで事業に参加しないといけないというところに少しハードルがあり、そのハードルを越えられない事業者が参加しにくいというデメリットがあります。ヒアリングの結果的には、指定管理方式を少しアレンジして、あらかじめ運営事業者を決めてから設計などに加わってもらうような形であれば、現状の指定管理方式のデメリットを少しカバーできるのではないかと結論になっています。

(2) 新「道の駅」かんおんじ（仮称）基本計画について

事務局： 「議題2 資料」を用いて説明。

委員長： 説明いただいた内容で、ご質問、ご意見ありますか。

委員 A： 一番気になるのは金額であり、大体どのくらいのお金が借りられて、どのくらいの年数で支払いが済むのかということを別の道の駅での事例が何パターンかあれば分かりやすく良いと思いました。

事務局： 次回の委員会で何かお示しできるような考えたいと思います。

委員長： 昨年、視察に行った道の駅で話しを聞いた際にも、建設費や年間の売り上げの情報をいただいたので、そのような事例があると比較できて良いと思います。

委員 B： 最終的に新道の駅をやるかやらないかの判断は、どの段階で決めるのでしょうか。

事務局： 基本計画を策定後、運営事業者を選定します。その後、土地収用法に基づく事業認定の申請時に、議会の議決が必要になります。

委員 B： 仮に市民の方からの反対が多くても、議会で議決すれば進めるということでしょうか。

事務局： 市民の方にも十分ご理解していただけるように説明をしていきます。

委員 B： 導入機能（案）に対する意見書について、「導入機能や新「道の駅」かんおんじ（仮称）の運営、活用方法の具体的な検討にあたっては、運営事業者や市内事業者、関係機関等と連携し進められたい」と書いていますが、指定管理方式以外を選択した場合、地元企業が活躍できる可能性が低いのではないのでしょうか。

事務局： 運営事業者に地元企業が参画できるような枠組みをヒアリングし、運営事業者を選定することになりますが、次回の委員会で整備方針をお示ししたいと思います。

委員長： 今後の段取りとして運営事業者を決めるということで、フードコートやテナントを自前とする運営事業者と地元企業のテナントを入れながら協力してする運営事業者とが手を挙げてきた場合、どちらを選ぶかという時に、市内との連携を引き合いに出して判断する中で、導入機能（案）に対する意見書が生きてくると思います。

委員 C： 概算でも良いので、事業費や償還がどれくらいなのか説明してほしいです。

事務局： 次回の委員会でお示ししたいと思います。

委員 A： 借金をした場合に、観音寺市としてどういった形で支払っていくのでしょうか。

事務局： 次回の委員会でお示ししたいと思います。

委員長： 需要予測のためのアンケート調査について、いくつかの機能の種類アンケート結果をまとめており、この設問項目の中に、温浴施設と屋外ドッグランが書かれてありますが、導入機能のイメージのところでは書かれていない機能になるので、削除しても良いかと思えます。

事務局： 承知しました。

オブザーバー： 道の駅を核とした周遊ツアーについて、観音寺市は、讃岐三白の一つである「綿」のイメージもありますが、その周遊はしないのですか。

事務局： 道の駅を核とした周遊ツアーについては、あくまで例の一部を書いています。

委員長： 具体例を示している意味合いとしては、新道の駅だけに留まらず、新道の駅を起点として広く巡り歩いてもらう仕掛けを、今後、観光協会などと連携して考えていくということだと思います。

委員 A： 市外からも銭形砂絵を見に来られる方が多いと思いますが、銭形砂絵展望台に行くまでの道中や展望台が暗くて危なかったのもう少し明るければ良いと思いました。

事務局： 担当課に伝えます。

委員 C： 既存の道の駅との連携をもう少し書き込んで良いと思いました。また、大野原インターの近くにできる予定ということなので、途中で降りて再度乗り入れができるETC2.0を取り入れるともっと需要が増えると思いました。

事務局： 検討したいと思います。

委員 B： 新道の駅の建設候補地とちょうさ会館とは高低差があるかと思いますが、盛り土などはどのようにする予定ですか。

事務局： 今後検討していく予定です。

委員長： 今日いただいた意見を踏まえ、考慮したうえで、基本計画の資料作成を事務局側で進めていただきたいと思います。

(3) 新「道の駅」かんおんじ（仮称）をイメージする言葉について

事務局： 「議題3資料」を用いて説明。

委員長： 説明いただいた内容で、ご質問、ご意見ありますか。（質問、意見等無し）

委員長： 今日提示された基本計画（原案）を今一度ご覧いただき、それを表現するサブタイトルとしてふさわしいもの、あるいは他のキーワードがありましたらそのワードを提示していただきたいと思います。

(4) その他

事務局： 第9回市民検討委員会は、令和6年12月の予定です。また、次回は事業費や事業手法などについてお示ししたいと思います。

4 閉会